

生駒市史第1巻、史料集第3集、第7集の発刊について

生駒市史編さん事業において、『市史第1巻』、『史料集第3集』、『史料集第7集』等を3月31日付で下記のとおり発刊しました。

記

◇一般向け頒布開始日 4月24日（金）

◇頒布場所 生駒市図書館、図書館北分館、図書館南分館、鹿ノ台ふれあいホール図書室、生駒駅前図書室、生駒市役所3階生涯学習課、生駒ふるさとミュージアム 啓林堂書店生駒店（第1巻のみ）
※市内5図書館・室、生駒ふるさとミュージアムで閲覧可能。

■ 第1巻『生駒の古代・中世・自然地理』

◇頒布価格 1冊 3,500円

◇A5 711頁 フルカラー

◇内容

第1編の「自然地理」では、本市の地質・地形や自然災害、気候を記述。第2編の「古代」では、旧石器時代から院政期以前、第3編の「中世」では院政期から1,600年頃までを対象に、各時代の生駒で起きたできごとや人々の暮らし、祈りについて調査研究した新情報を入れて新しい生駒像を掲載しています。

■ 史料集3『史料に見る生駒の近世』

◇B5モノクロ版427頁 1部2500円

旗本松平家によって置かれた辻村の生駒陣屋や市内の各地域に残る史料をまとめています。領主による年貢の取り立てや、陣屋役人による支配を拒み、長州藩に支配を願い出た「矢野騒動」、11か村のできごとなどを所収しました。

■ 史料集7『史料に見る生駒の古代・中世』

◇B5モノクロ版500頁 1部2500円

「記紀」・和歌など国内のあらゆる書物や金石文きんせきぶんなどから、古代・中世の生駒に関する記述を抽出した史料を所収。さらに、発掘調査の成果をもとに、市内遺跡の中から選んだ主要な集落や窯、墓、城などの解説と図版も併せて掲載。

■ 市史編さん事業 PR グッズを作成し、発売しています。

◇品名 一筆箋（生駒山・茶釜）、生駒市地形クリップ

◇頒布場所・価格 市内5図書館・室、図書館イベント時の会場等。各400円